

拝啓 今年も早や年の暮れとなりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、ほとんど落ち葉となりました。

今月号から、カウマン夫人編著の『日の出に向かって』（日本ホーリネス教団出版部）から引用します。

カウマン夫人の本は、「エンカウンター」で、平成18年1月から11月号（第46号から54号）に『山頂を目指して』からの引用を掲載したことがあります。カウマン夫人の略歴については、第46号掲載の略歴を、本文に再掲しました。第46号の送り状で、カウマン夫人について、紹介していることの要点をここに再掲します。

「カウマン夫人の伝記から、いろいろなことを発見して驚きました。

- ① シカゴのムーディー聖書学院に学んだ中田重治との縁で、来日されたこと。小西先生の先生のモーク先生も、ムーディー聖書学院に学ばれましたから、日本で、モーク先生とカウマン夫人は、知り合いだったと思われます。
- ② 日本に18年滞在し、中田重治らとともに伝道し、東洋宣教会を設立し、ホーリネス教会は、その東洋宣教会から生まれていること。
- ③ 大正7年にアメリカに帰国後は、東洋宣教会はアメリカに本部がおかれ、夫チャールスの没後、カウマン夫人が20年間も総理を勤めていること。東洋宣教会は、世界中の国々に、クルーセードを送り、世界宣教をしており、カウマン夫人は、ビリー・グラハムのような、大伝道者であったこと。
- ④ 内村鑑三が、中田重治らとともに、再臨運動を行ったのは、大正7、8年のことであり、カウマン夫人とも面識がありそうなこと。
- ⑤ 小西先生が、小石川福音教会での中田重治の特別伝道を聞いて、聖霊を受け、洗礼をうけたのも、大正7年でありました。
- ⑥ 高円寺東教会におられた今井寿先生（やすらぎ教会牧師）は、昭和5年中田重治の聖書学院に入学され、中田重治に学んだ方であること。他にも、高円寺東教会には、ホーリネス教会から移ってこられた方が数人おられました。

以上のように、カウマン夫人は大きな働きをされた大伝道者であり、内村鑑三先生、小西先生にも、間接的に影響を与えられた方であると思われます。」

11月と12月に2度も入院、手術をし、少し落ち込みましたが、今はすっかり元気になりまして、平生通りの生活をしております。

皆様も、どうぞ、お身体を大切にされ、良いお年をお迎えください。

敬具

平成29年12月25日

山口周三

エンカウンターの読者各位